

## ふるさと遺産探訪② 松郷開拓の碑

前々号に続き、松井まちづくり協議会認定の文化歴史・自然環境遺産をご紹介します。今回は「松郷開拓の碑」(松郷161-7 松郷霊園内)です。

もともと旧所沢町と柳瀬村にまたがる松郷を含む一帯は、戦争が終わるまで、雑木林が広がる土地でした。

そこに、終戦直後の昭和21年、食料の増産や就農による生活の安定を目的に、地元の農地委員会で開拓計画が持ち上がったのが開拓のはじまりです。翌年には、主に復員軍人や家を継がない次男三男の人たちに土地が配分され、入植者30戸・増反(ぞうたん)者150戸による所沢柳瀬地区の開拓事業が開始されました。

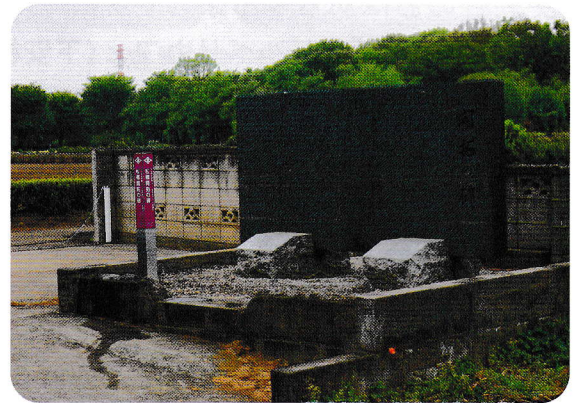
家も道も水も電気も、何もない状態からの開墾の苦労は並大抵ではなく、天災も容赦なく襲ってきたそうです。干ばつや霜・雪の害、異常発生 of ネズミの害などで、自給食糧の確保さえ困難となり、また台風ともなれば手づくりのバラック住宅はひとたまりもなく、屋

根は飛び、窓は破れて、家族全員ずぶぬれになったとのことでした。

井戸も干ばつのたびに掘り下げて、ポンプが使えないほど深くなり、ロープと桶でくみ上げる作業はたいへんな重労働でした。

雑木林を畑地に開墾するということは、今の私たちには想像がつかないほどの苦労を伴いました。

そのことを思い浮かべながら、松郷に広がる畑地を眺めてみましょう。



松郷霊園の中に建つ石碑

## 『まついむら 文化歴史・自然環境遺産 ガイドブック』を作成しました

松井まちづくり協議会の主要な事業の一つである「文化歴史・自然環境遺産認定事業」につきましては、平成27年度の事業開始から令和2年度までに、今号掲載の「松郷開拓の碑」を含め33件(37か所)の遺産認定を行い、認定作業自体はひとまず終了しました。

事業は次の段階に進み、認定した遺産を案内する各種資料の作成を開始しています。第1弾は前号でご紹介した「大型展示資料(A0版ポスター)」ですが、それに続く第2弾として、「まついむら 文化歴史・自然環境遺産ガイドブック」を作成しました。カラー刷りの小冊子で、遺産を訪れる際などの携帯に便利です。

地域の皆様に広く手に取っていただけるよう、各種イベントなどで配布する予定です。どうぞご期待ください。

ふるさと松井地区の再発見

**まついむら**  
**文化歴史・自然環境遺産**  
**ガイドブック**

松井まちづくり協議会  
文化歴史遺産・自然環境遺産認定委員会  
令和4(2022)年1月発行【第1版】

A4版『まついむら文化歴史・自然環境遺産ガイドブック』

### へんしゅうこうき

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が下止まりの様相と分析されているが、いわゆる「第6波」が来襲するとの前提での話かと思う。オミクロン株の恐怖もある。コロナ禍でのマスク、手指消毒などの日常の対策を行っていても、さらなる注意が必要。見えない敵だけに強い意志で戦うしかない。